

経験的確率, 相対頻度 経験的アプローチ

[英] *empirical probability*

一見して明らかに歪んだサイコロが有る場合, それを投げて1の目の出る確率は幾らかということを考えて, それは先験的には明らかではない. この様な場合に確率を評価する1つの方法は, そのサイコロを実際に何回も投げてみることである.

n 回投げてみて1つの目が n_A 回出たとするとき n_A/n を**相対頻度**という.

$$\text{相対頻度} = \frac{n_A}{n}$$

経験的アプローチでは, ある事象 A の起こる確率は, 観察回数 n を大きくしたときのその事象の起こる相対頻度 n_A/n の極限值として定められる. この様な確率を**経験的確率** (empirical probability) という.

$$P\{A\} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n_A}{n}$$